

## 京都 kongress・ユースフォーラムに参加して

< 松浦心音 >

私は、青少年の犯罪防止や更生のサポートについて議論しました。日本では犯罪を犯した少年の更生に重点を置きますが、海外ではその家族のサポートも進んでいるので、様々な角度から見るのが大切だと改めて感じました。また、BBSなど更生を支援するボランティア活動にも参加し、これからも自ら学ぶ機会を見つけて交流を深めていきたいと思います。

< 田中里奈 >

私は、法遵守の文化を醸成するための若者の教育について話し合いました。模擬裁判や模擬投票のような擬似体験をすることで、社会の問題に対して「自分ごと」として考えられる機会を作ることが重要だと話し合いました。私も社会のために何ができるのかを模索していきたいと思います。

< 茨木恵 >

私は、安全なネット社会に向けた若者の責任についてのディスカッションに参加しました。コロナ禍においてICT(情報通信技術)と若者の関係はより深まり、それと同時に若者がそれらを悪用した犯罪に巻き込まれることも増えました。今回のディスカッションでは、そのような犯罪に対処するために国際的なつながりを大切にしようという点も議論しました。私も国際的な視点を持つために、それぞれの国の「違い」を考えていけるようになりたいと思いました。

< 栗本みどり >

私はネット社会の安全性について話し合うセッションに参加しました。ICTの普及が急速に進む中で、若者がそれらを利用した犯罪に巻き込まれることが問題となっています。しかし、このような技術があることで、例えばこのコロナ禍でも遠方の人と議論できたり、便利な生活ができたりもします。今回「法」という観点からこの問題について考え、解決策を見つけるために話し合ったことで、私は元々興味があった「国際」に加え、日本や世界の基盤となる「法」についてももっと知りたいと思うようになりました。